



2025 年 7 月 10 日

各 位

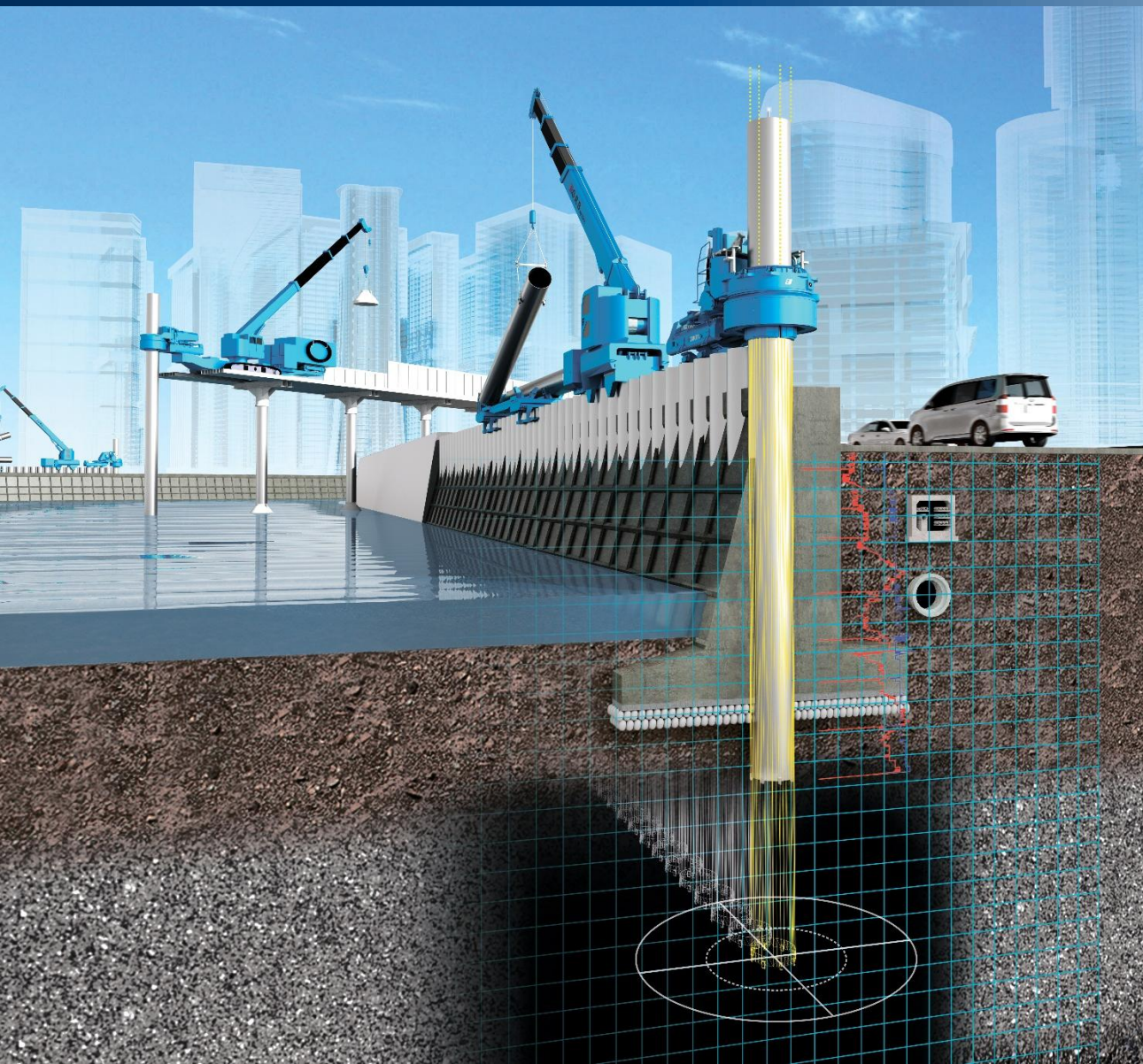
会 社 名 株式会社 技研製作所
代表者名 代表取締役社長 CEO 大平 厚
(コード番号 6289 東証プライム市場)
問合せ先 常務執行役員 田内 剛
(TEL 088-846-2933)

2025 年 8 月 期 第 3 四半期決算説明資料に関するお知らせ

2025 年 8 月 期 第 3 四半期の決算概要および 2025 年 8 月 期の通期業績予想等の説明資料を作成いたしましたので、別紙のとおりお知らせいたします。

以上

2025年8月期第3四半期(2024年9月～2025年5月)



 **GIKEN**

株式会社 技研製作所
決算説明資料

2025年7月10日

証券コード:6289

将来見通しに関する注意事項

本資料において提供される当社および当社グループの現在の方針、経営戦略などの情報のうち、歴史的事実でないものは、将来に関する記述をはじめとする、現在入手可能な情報をもとに構築したいわゆる「見通し情報」を含みます。これらは見込み、予測およびリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招き得る不確実性を含んでおります。

それらのリスクや不確実性には、各国の経済状況や業界並びに市場の景況、金利や物価、通貨為替変動といった一般的な国内及び国際的な経済状況が含まれます。

今後、新しい情報・将来の出来事等があった場合であっても、当社は、本資料に含まれる「見通し情報」の更新・修正を行う義務を負うものではありません。

2025年8月期第3四半期 決算概要

(1) 建設機械事業

- ◎ 圧入工事の発注は底堅く推移
- ◎ 国内は建設コスト上昇や技能労働者不足からユーザーの設備投資が減速
- ◎ 海外は主として、前期は上期に製品売上が高水準だったのに対し、今期は4Qに売上が集中する計画であることから減収

(2) 圧入工事事業

- ◎ 国内は主として、前期の3Q累計期間における高水準な工事売上の反動減および開発型案件が4Qに集中する計画であることから減収
- ◎ 海外はドイツにてオペレーター付きレンタルの需要が継続

業績推移 — 3Q累計

売上高：前年同四半期比21.3%減収の17,429百万円

営業利益：前年同四半期比50.7%減益の1,399百万円

四半期純利益：前年同四半期比79.7%減益の451百万円

単位：百万円

3Q累計	2023/8期		2024/8期		2025/8期	
	実績	前期比	実績	前期比	実績	前期比
売上高	21,196	+2.1%	22,133	+4.4%	17,429	▲21.3%
国内売上	18,044	+7.2%	19,351	+7.2%	15,594	▲19.4%
海外売上	3,151	▲19.9%	2,782	▲11.7%	1,835	▲34.0%
海外比率	14.9%	▲4.0%pt	12.6%	▲2.3%pt	10.5%	▲2.1%pt
売上総利益	7,951	▲3.0%	8,363	+5.2%	6,810	▲18.6%
営業利益 (営業利益率)	2,176 (10.3%)	▲31.4%	2,837 (12.8%)	+30.4%	1,399 (8.0%)	▲50.7%
経常利益	2,253	▲32.0%	3,132	+39.0%	1,438	▲54.1%
四半期純利益 ^{※1}	223 ^{※2}	▲89.9%	2,218	+894.5%	451 ^{※3}	▲79.7%
1株当たり純利益	8.11円	▲89.9%	82.78円	+920.7%	16.86円	▲79.6%

※1 四半期純利益：親会社株主に帰属する四半期純利益

※2 海外連結子会社の連結除外による関係会社整理損1,367百万円を特別損失として計上しております

※3 7月2日に公表しました通り、訴訟関連損失および貸倒引当金繰入額計812百万円を特別損失として計上しております

セグメント別業績推移 — 3Q累計 建設機械事業

国内売上：建設コストの上昇や技能労働者不足に伴うユーザーの設備投資の減速により減収

海外売上：前期は上期に製品売上が高水準だったのに対し、今期は4Qに売上が集中する計画であること、
また一部製品販売の4Qへの期ずれにより減収

営業利益：売上減に伴う売上総利益の減少により減益

単位：百万円

建設機械事業	2023/8期		2024/8期		2025/8期	
	実績	前期比	実績	前期比	実績	前期比
売 上 高	15,245	+5.7%	15,482	+1.6%	11,781	▲23.9%
国 内 売 上	13,466	+7.6%	12,575	▲6.6%	9,753	▲22.4%
海 外 売 上	1,181	+0.2%	2,577	+118.2%	1,617	▲37.3%
内 部 売 上	597	▲17.8%	329	▲44.9%	411	+25.0%
海外比率※	8.1%	▲0.5%pt	17.0%	+8.9%pt	14.2%	▲2.8%pt
営 業 利 益 (営業利益率)	3,317 (21.8%)	▲15.3%	3,537 (22.8%)	+6.6%	2,188 (18.6%)	▲38.1%

※ 海外比率は内部売上を除いた金額を基に算出しております

セグメント別業績推移 — 3Q累計 圧入工事事業

国内売上：前年の3Q累計期間における高水準な工事売上の反動減および開発型案件が

4Qに集中する計画であること、一部受注案件の着工遅れにより減収

海外売上：オペレーター付きレンタルの進捗により微増収

営業利益：売上減に伴う売上総利益の減少により減益

単位：百万円

圧入工事事業	2023/8期		2024/8期		2025/8期	
	実績	前期比	実績	前期比	実績	前期比
売 上 高	6,784	▲5.6%	7,105	+4.7%	6,180	▲13.0%
国 内 売 上	4,578	+6.1%	6,775	+48.0%	5,840	▲13.8%
海 外 売 上	1,970	▲28.5%	204	▲89.6%	217	+6.5%
内 部 売 上	235	+101.8%	124	▲47.1%	122	▲1.7%
海外比率※	30.1%	▲8.9%pt	2.9%	▲27.2%pt	3.6%	+0.7%pt
営 業 利 益 (営業利益率)	831 (12.3%)	▲12.1%	1,126 (15.9%)	+35.5%	915 (14.8%)	▲18.7%

※ 海外比率は内部売上を除いた金額を基に算出しております

業績推移 — 3Q（3月～5月）

売上高：前年同四半期比15.1%減収の5,599百万円

営業利益：前年同四半期比82.0%減益の75百万円

四半期純利益：前年同四半期368百万円の利益に対し、当四半期は477百万円の損失

単位：百万円

3Q (3月～5月)	2023/8期		2024/8期		2025/8期	
	実績	前期比	実績	前期比	実績	前期比
売上高	6,263	▲4.4%	6,598	+5.4%	5,599	▲15.1%
国内売上	5,278	+11.3%	5,835	+10.6%	4,866	▲16.6%
海外売上	984	▲45.5%	762	▲22.5%	733	▲3.9%
海外比率	15.7%	▲11.9%pt	11.6%	▲4.1%pt	13.1%	+1.5%pt
売上総利益	2,257	+0.2%	2,354	+4.3%	2,035	▲13.5%
営業利益 (営業利益率)	30 (0.5%)	▲92.1%	420 (6.4%)	+1279.9%	75 (1.4%)	▲82.0%
経常利益	59	▲86.9%	542	+818.8%	93	▲82.8%
四半期純利益※1	▲1,151※2	-	368	-	▲477※3	-
1株当たり純利益	▲41.87円	-	13.78円	-	▲17.82円	-

※1 四半期純利益：親会社株主に帰属する四半期純利益

※2 海外連結子会社の連結除外による関係会社整理損1,367百万円を特別損失として計上しております

※3 7月2日に公表しました通り、訴訟関連損失および貸倒引当金繰入額計812百万円を特別損失として計上しております

セグメント別業績推移 — 3Q（3月～5月） 建設機械事業

国内売上：建設コストの上昇や技能労働者不足に伴うユーザーの設備投資の減速により減収

海外売上：製品販売の遅れによりわずかに減収

営業利益：売上減に伴う売上総利益の減少により減益

単位：百万円

建設機械事業	2023/8期		2024/8期		2025/8期	
	実績	前期比	実績	前期比	実績	前期比
売 上 高	4,661	+17.7%	4,195	▲10.0%	3,396	▲19.0%
国 内 売 上	4,009	+23.3%	3,368	▲16.0%	2,593	▲23.0%
海 外 売 上	553	+26.6%	698	+26.2%	657	▲5.9%
内 部 売 上	99	▲63.5%	128	+29.0%	145	+13.4%
海外比率※	12.1%	+0.3%pt	17.2%	+5.1%pt	20.2%	+3.0%pt
営 業 利 益 (営業利益率)	735 (15.8%)	+9.1%	552 (13.2%)	▲24.9%	253 (7.5%)	▲54.1%

※ 海外比率は内部売上を除いた金額を基に算出しております

セグメント別業績推移 — 3Q（3月～5月）圧入工事事業

国内売上：前期の高水準な工事売上の反動減、および一部受注案件の着工遅れにより減収

海外売上：オペレーター付きレンタルの進捗により微増収

営業利益：売上減に伴う売上総利益の減少により減益

単位：百万円

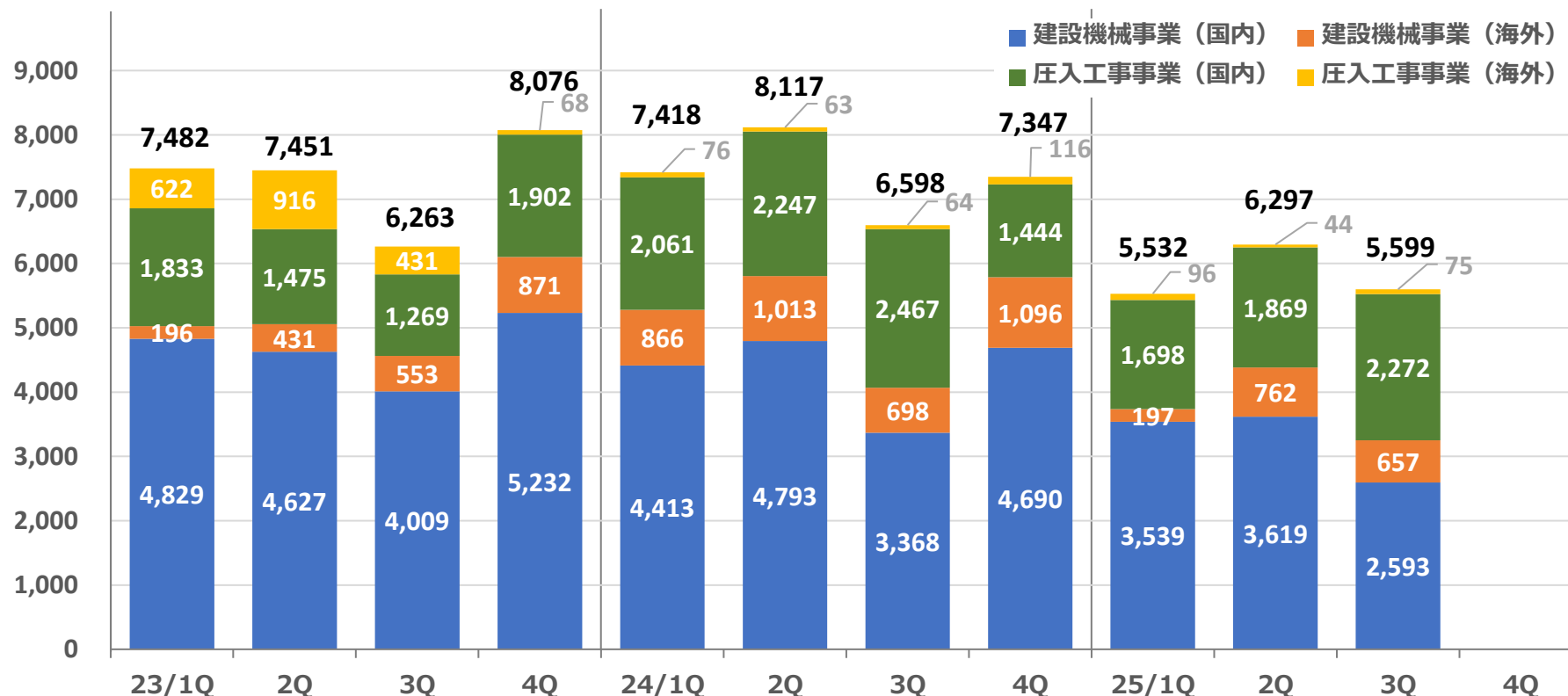
圧入工事事業	2023/8期		2024/8期		2025/8期	
	実績	前期比	実績	前期比	実績	前期比
売 上 高	1,720	▲41.0%	2,567	+49.2%	2,411	▲6.1%
国 内 売 上	1,269	▲14.9%	2,467	+94.4%	2,272	▲7.9%
海 外 売 上	431	▲68.5%	64	▲85.1%	75	+17.9%
内 部 売 上	20	▲62.2%	35	+74.8%	62	+76.6%
海外比率※	25.4%	▲22.5%pt	2.5%	▲22.9%pt	3.2%	+0.7%pt
営 業 利 益 (営業利益率)	0 (0.0%)	▲99.9%	488 (19.0%)	+170251.8%	409 (17.0%)	▲16.2%

※ 海外比率は内部売上を除いた金額を基に算出しております

国内外、セグメント別売上高・海外比率推移

- ・ 海外市場は市場創出フェーズにあり、安定的な売上計上には至っていない
- ・ 当期は海外の製品販売が遅れているものの、通期では前期を超える売上を目指す

単位：百万円



	23/1Q	23/2Q	23/3Q	23/4Q	24/1Q	24/2Q	24/3Q	24/4Q	25/1Q	25/2Q	25/3Q	25/4Q
海外売上高	819	1,347	984	940	943	1,076	762	1,212	294	807	733	-
海外比率	11.0%	18.1%	15.7%	11.6%	12.7%	13.3%	11.6%	16.5%	5.3%	12.8%	13.1%	-

(注) 2023年8月期第4四半期より海外連結子会社が1社減少

2025年8月期 業績予想

業績予想

通期業績予想については、7月2日に公表した修正内容から変更ありません。
売上高と営業利益、経常利益につきましては、海外建設機械事業および国内圧入工事事業において、
4Qとして最高水準の売上高を見込むことなどから、4月10日に公表した予想から変更しておりません。

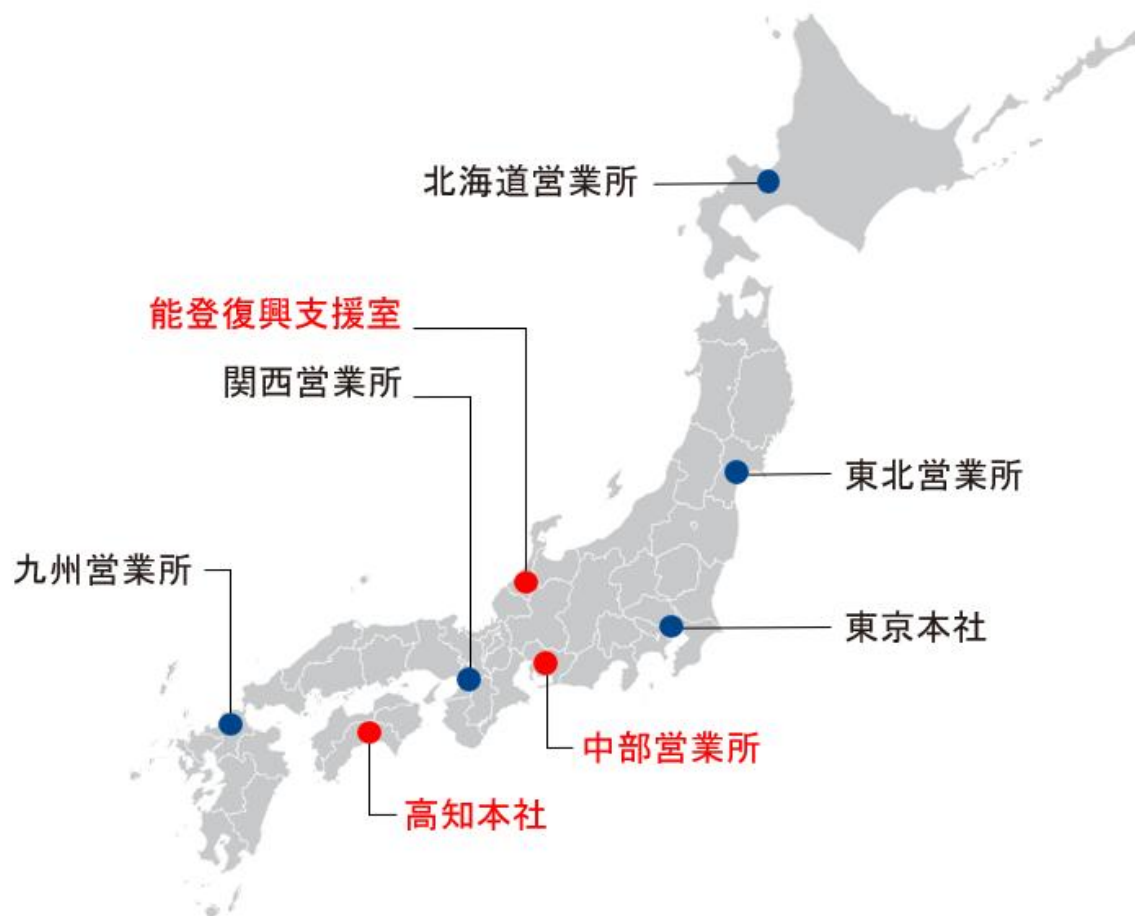
単位：百万円

	2025/8期					
	1Q(9-11月) 実績	2Q(12-2月) 実績	3Q(3-5月) 実績	4Q(6-8月) 予想	通期予想 (7月2日公表)	前期比
売上高	5,532	6,297	5,599	8,670	26,100	▲11.5%
建設機械事業	3,737	4,382	3,251	5,929	17,300	▲17.4%
圧入工事事業	1,795	1,914	2,348	2,741	8,800	+3.0%
営業利益	645	678	75	900	2,300	▲30.8%
経常利益	679	666	93	1,011	2,450	▲31.6%
当期純利益※	366	562	▲477	808	1,260	▲48.3%
1株当たり純利益	13.69円	20.99円	▲17.82円	30.78円	47.64円	▲47.6%

※ 当期純利益：親会社株主に帰属する当期純利益

国内、海外事業の進捗

復旧工事の加速に向け、能登復興支援室の体制を強化



さらに工法普及体制強化の一環として、中部営業所を増員
高知本社には四国エリア専任担当者を新たに常駐

アジア地域

1. シンガポールのGTOSS ASIA会員に3台目のジャイロパイラーを販売。
ジャイロプレス工法の採用現場の2件目が完工、3件目も順調に進捗
2. 中国の販売代理店兼指定工場である「天遠社」との協働成果として
サイレントパイラー3台を納車

ヨーロッパ地域

1. 「GTOSS EUROPE」にドイツのユーザー1社が新規加入
加入：3社→**4社**

北米地域

1. GTOSS North Americaの米国の会員ユーザーとの協働の結果、
同ユーザーが同国初となるジャイロプレス工法の採用案件を受注



Construction Revolution

Implant Method Changes Worldwide Construction